

■ □ ■ 畜産環境アドバイザーのひろば ■ □ ■

「新潟県における畜産環境アドバイザーの普及・広報活動について」

社団法人 新潟県畜産協会 技師 谷川昌行
(アドバイザーNo. 0844)

(1) はじめに

新潟県の気象条件として、冬期間は日照時間が短く低温・高湿度となる特徴があります。そのため、冬期間は太陽エネルギーによる堆肥表面からの蒸散はほとんど期待できません。また、積雪の影響並びに圃場条件の悪化により、中山間地域では12月から4月下旬まで、平野部でも4月上旬まで堆肥の散布及び耕耘が困難となっています。

米どころである本県では、春先と秋の年2回に堆肥の需要が集中します。また、完熟堆肥でも屋根の下での管理が法的に必要になることから、4～5ヶ月間貯蔵できる施設がないと「家畜排せつ物法」がいう野積みの解消はできない状況にあります。

これまでは、低温多雪地域という不利な気象条件における家畜ふん尿処理に、多額の初期投資やランニングコストを必要としない施設をどのように取り入れて行くか頭を悩ませている状態でした。

(2) アドバイザー研修を受講して

私がアドバイザー研修を受講したのは、平成12年6月(堆肥化处理)と9月(汚水処理)ですが、受講前は「本当に自分に理解できるのか？」と不安に感じていました。しかし、研修を受けたことがある方ならご存知の通り、そんな不安はすぐに吹き飛んでしまったことは言うまでもありません。そこには本多先生の親切丁寧かつ熱心な講義に夢中に聞き入っている自分がいました。当時、ほとんど知識が無い真っ白い脳ミソだっただけに、すぐに本多色に染められてしまいました。

(3) 研修受講後の取り組み

アドバイザー研修を終えて、まず第一に感じたのは、「正しい知識をみんなに教えたい！！」ということでした。そこで、県、市町村、農協、関係団体の畜産担当者を対象に伝達講習会を開催し、「ふん処理の基礎」、「尿処理の基礎」、「堆肥化处理施設設計計算の実際」についてアドバイザー3人がそれぞれ担当して講習を行いました。ふん尿処理に関する意識改革に向け意味のある講習会を開催できたと自負しております。

さらに嬉しいことに、この講習会をきっかけとして、「新潟県でも実際に本多先生の話が聞きたい！！」という声が多くなり、なんとか先生に講演して頂きたいお願いしていたところですが、本年8月に「ふん処理の基礎と堆肥流通」について講演して頂き、大好評のうちに終了することができました。ただ、時間が少な過ぎたのが残念でした・・・。

また、某県の真似(?)をして、ふん尿処理施設・機械メーカーから取り寄せた設計計算書・見積書等をもとに適正なふん尿処理方式の検討を行った『新潟県における家畜排せつ物の処理方式』

を作成し、雪国における処理方式を関係者並びに畜産農家に紹介しました。助言者として本多先生にも協力していただき大変感謝しております。

(4) 普及・広報活動について

皆さんはこんな経験をお持ちではないでしょうか？実際に農家を廻って助言・アドバイスをしているときに「あんたら何しに来たの？環境アドバイザーって何？」と言・・・アドバイザーの存在すら知らない農家さんがあまりにも多いのです。正直私はショックでした。と同時に反省の心が芽生えました。「畜産環境アドバイザーになって正しい知識を身につけたものの、今の私はただ単にアドバイザーの資格に自己満足しているに過ぎないのではないか？伝達講習も大切だが、ふん尿処理で困っている農家を助けてやるのがアドバイザーとして一番重要なことではないだろうか？」。

アドバイザーになっても、何も行動しなければ意味がありません。多くの農家にコキ使われてこそ本当のアドバイザーの価値が出てくると私は考えています。そこで本県では、まず、アドバイザーの存在を広く畜産農家の皆さんに知ってもらいどんどん活用してもらうことを目的として、パンフレット『いがた畜産環境ガイド～畜産環境アドバイザー名簿～』を作成し、全畜産農家に配布しました。このパンフレットは、家畜排せつ物法の概要や1/2リース事業の説明とともに、県内のアドバイザー15名(当時)の氏名、所属、役職、連絡先、電話・FAX番号、終了講座、自己紹介コメントを顔写真付きで紹介しています。このパンフレットを作成するにあたり、各アドバイザーに原稿依頼をしたところ、誰一人として嫌がる顔もせず喜んで書いて頂いたことに感謝するとともに、アドバイザー仲間の大切さと素晴らしさを実感しました。

パンフレット配布後のアドバイザーの使われ状況ですが、配布直後ではやはり、問い合わせ等もほとんどありませんでしたが、最近、徐々に相談されることが多くなってきています。特に養豚農家の汚水処理に関しては頭を悩ませている方が多く、アドバイザー同志でもどうするべきか検討しあっている状況ですが、3人寄ればなんとやらで一生懸命知恵を絞りがんばっております。また、各地域でもアドバイザーが中心となった助言・アドバイスが行われるようになっており、少しずつではありますがアドバイザーの名前が浸透してきているようです。

12年度終了時点で、本県のアドバイザーはわずか18名しかいませんが、今後、ただ単に人数を増やすことだけを目標にせず、「使えて使われるアドバイザー(仲間)」を増やしていけたら良いと考えております。



協同組合まつりでの堆肥に関するアンケート調査

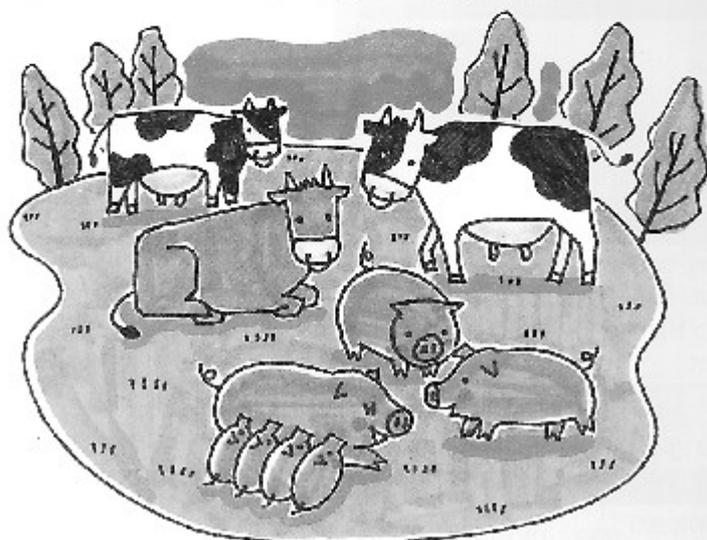
10月14日(日)、協同組合まつり会場において、堆肥流通PRとして、県内産堆肥の展示、パネル展示を行いました。また、堆肥に関する意識調査アンケートを実施した結果、700人以上の方のご協力をいただくことができました。

畜産環境アドバイザー名簿

その前に… 畜産環境アドバイザーって何？ 誰??

農家の実態に応じた家畜ふん尿処理施設の整備や適切な処理システムの設計等について、アドバイスができる人材を（財）畜産環境整備機構が養成しているもので、堆肥化施設、汚水処理施設、臭気対策・新技術の3部門から成り立ちます。

**畜産農家のみなさん!! ふん尿処理について相談
事がありましたら、お気軽に連絡をください!!**



氏名	本間 佑司(ほんま ゆうじ)	
所属	北海道農業改良普及センター 主任改良普及員	
連絡先	新篠田市豊田3丁目3-2 新篠田緑化センター TEL 0254-26-8118・FAX 0254-22-1114	
終了講座	堆肥処理	
自己紹介 コメント	堆肥が処理施設の有無にかかわらず、いずれの場合でもコスト削減を心がけることが不可欠です。そのためには、処理施設を交えて連携体制を組んでから、ある程度の内容をきめて内容を検討する必要性をご理解ください。実地の場では、どんな処理制度を採用するかはともかく、設計から施工まで最小の投資で最大の効果を得るよう、奮闘できるまで検討しましょう。	

氏名	山崎 尚弘(やまざき なおひろ)	
所属	岩手県農業改良普及センター 主任改良普及員	
連絡先	村上町緑田3-25 村上緑化センター TEL 0254-52-7923・FAX 0254-53-6782	
終了講座	汚水処理	
自己紹介 コメント	施設の導入を考慮されている方、まずは相談に来て下さい。	

氏名	宮越 智子(みやこし ちほこ)	
所属	北海道農業改良普及センター 主任改良普及員	
連絡先	新篠田市豊田3丁目3-2 新篠田緑化センター TEL 0254-26-8118・FAX 0254-22-1114	
終了講座	堆肥処理	
自己紹介 コメント	日産40トン程度の処理に向け、村にお役立てないかと、思いアトバイザー会協賛体を受講しました。「課題を建てたいんだけど……」「今まで通っていいかな……」など、何でも結構ですので気軽にご相談下さい。よろしくお願ひします。	

氏名	菅 宣 幸 (くさしげ しげかつ)	
所属	北海道農業改良普及センター 副代表	
連絡先	北海道小樽市大塚野田9-1 TEL 02579-2-7291・FAX 02579-2-8565	
終了講座	臭気対策・新技術	
自己紹介 コメント	臭気化が進むなか、畜舎経営にとって更に臭気対策のコスト負担が求められる専らに急行している実態があります。また、「家畜排せつ物法」に合った対応が急務に正られております。それぞれ課題は違いましたが多くありますので、経営と施設の条件をよく合わせることで、入念の道を探る支援をほかにしたいと考えております。よろしくお願ひします。	

氏名	小 塚 渉(おやまざ わたる)	
所属	畜舎研究センター 主任研究員	
連絡先	南幌市郡下田村田橋178 TEL 0356-46-8103・FAX 0356-46-4866 E-mail: wa_gomugi@nrc.nrcf.nigata.jp	
終了講座	汚水処理	
自己紹介 コメント	畜舎は畜舎建築技術の畜舎研究センターの小塚です。現在、畜舎環境衛生に関する臭気研究を行っています。畜舎排せつ物の処理・利用ですが、汚水処理・臭気についても非常に重要なことと捉えています。具体的な技術については可能な限り、公開したいのですが、お気軽にお問い合わせください。	

氏名	志田 茂 雄(しだ しげお)	
所属	JJA中部新潟県本部 常務部 調査役	
連絡先	新潟市大 3 1 6 TEL 025-261-2961・FAX 025-231-2209	
終了講座	汚水処理技術 臭気対策・新技術	
自己紹介コメント	<p>新潟市本部本部の志田茂雄です。成城リースの窓口担当をやっています。家庭用浄水器の普及にあたり、浄水器、浄水器などで浄水器の普及として浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p> <p>ふるさと講座では、まだ勉強中ではありますが、どうもよろしくお願いいたします。</p>	
氏名	小林 博(こばやし ひろし)	
所属	JJA全農新潟県本部 常務部 調査役	
連絡先	新潟市大 3 1 6 (H) 025-261-2961・FAX 025-231-2209	
終了講座	汚水処理	
自己紹介コメント	<p>JJA本部にいたった小林です。北蒲原と新潟市、それに新潟県会事務局を担当しています。自家の浄水器の普及にあたり、浄水器、浄水器などで浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。また、浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p> <p>また、浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p>	
氏名	山口 明(やまぐち あきら)	
所属	十日町地域版権協会の 家庭用浄水器 調査役	
連絡先	十日町市 9 6 1 3 TEL 0257-521-0188・FAX 0257-521-4039 E-mail: syama@ccpccs.cccn.ne.jp	
終了講座	塩化処理 汚水処理	
自己紹介コメント	<p>浄水器は浄水器の普及にあたり、浄水器、浄水器などで浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。また、浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p> <p>また、浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p>	
氏名	石田 元(いしだ もとむ)	
所属	任意法人 新潟県畜産協会 事務局長	
連絡先	新潟市山田 2310-15 TEL 025-234-6761・FAX 025-234-7045 E-mail: snk@pos.scheranajp	
終了講座	汚水処理	
自己紹介コメント	<p>浄水器の普及にあたり、浄水器、浄水器などで浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。また、浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p> <p>また、浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p>	
氏名	谷川 己行(たにかわ みよゆき)	
所属	任意法人 新潟県畜産協会 畜産コンサルタント	
連絡先	新潟市山田 2310-15 TEL 025-234-6761・FAX 025-234-7045 E-mail: snk@pos.scheranajp	
終了講座	塩化処理 汚水処理	
自己紹介コメント	<p>浄水器の普及にあたり、浄水器、浄水器などで浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。また、浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p> <p>また、浄水器の普及は、JAを通じてご紹介ください。</p>	